

エコアクション21

環境経営レポート

第16版



対象期間 2020年12月～2021年11月

発行日：2022年10月

ISHIZAKA GROUP

有価物回収協業組合 石坂グループ



目次

1. 環境方針	1
2. 組織の概要	2 ~9
3. 認証・登録対象範囲	10
4. E A 2 1 組織図	10
5. 環境経営目標	11
6. 環境経営計画	12
7. グループ全体の物質収支	13 ~14
8. 環境経営目標と実績	15
9. SDGsへの取り組み	16
10. 環境関連法規等の遵守状況	16
11. 地域・社会貢献	16
12. 環境責任者及び代表者による 全体評価と見直しの結果	17

1. 環境方針

環境方針

私たち石坂グループは、リサイクル事業及び廃棄物処理事業を通じ、業界のリーディングカンパニーとして、地域・社会の環境保全への取組みをサポートし、環境に責任の持てる企業として有益な環境活動を追及いたします。

- 1、取扱品目全般において、環境負荷の軽減、化学物質の適正管理、エネルギーの知的利用の促進、コスト削減の追及を実施し、最適な企業活動を目指します。
- 2、事業活動の定期的見直しを実施し、継続的改善・汚染の予防・環境負荷の軽減を第一に事業活動を実施いたします。
- 3、環境企業として、子供達の環境教育を積極的に実践し、施設の一般公開・情報の開示を推進いたします。
- 4、当社において、有効資源の活用・確保及びグリーン購入を推進し、最終処分廃棄物の削減、有効利用の促進につなげます。
- 5、環境関連法規及び、同意したその他の要求事項を、すべて順守し、業界のレベルアップ・モラルの向上を目指します。
- 6、この環境方針は、当組合の環境活動の指針として全従業員に周知し、関連する一般の方すべてに公開致します。

2014年 9月 1日



有価物回収協業組合石坂グループ

理事長 石坂孝光

2. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者氏名

事業所名 有価物回収協業組合 石坂グループ
代表者名 代表理事 石坂孝光

2) 所在地

- 本社 熊本県熊本市東区戸島町2874番地
☎：096（389）5501 📠：096（389）5502
- 大津事業所 熊本県菊池郡大津町杉水3746番地
☎：096（293）0561 📠：096（293）0943
- 西部事業所 熊本県熊本市西区上代7丁目28番11号
☎：096（329）2002 📠：096（329）2003

3) 環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先

環境管理責任者氏名 常務理事 辻崎英樹
連絡先 ☎：096（389）5501 📠：096（389）5502

4) 事業の内容

- 一般廃棄物・産業廃棄物・有価物の収集運搬業
- 一般廃棄物・産業廃棄物・有価物の中間処理業
- 有価資源の回収・販売
- 指定管理施設の運営

5) 法人設立年月日

1979年5月25日

6) 事業規模

- 資本金 7,000万円
- 従業員数 294名
- 売上高 686,550万円（2021年5月）

7) 環境省優良産廃処理業者認定制度

優良認定年 2015年～

8) 環境関連資格者

- 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(収集運搬) 22名
- 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(処分) 9名
- 特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会(収集運搬) 22名
- 産業廃棄物処理施設技術管理士(中間処理施設) 2名
- 産業廃棄物処理施設技術管理士(破碎・リサイクル) 18名
- ごみ処理施設技術管理士 2名
- 環境カウンセラー 3名
- 公害防止管理者(水質) 1名

9) 運搬車両の種類と台数

- 全保有台数 138台
- 内訳
 - キャブオーバ 31台 脱着装置付コンテナ専用車
 - 塵芥車 45台 ダンプ 12台
 - 高所作業車 2台 バン 12台
 - コンテナ専用車 2台 箱型 11台
 - 散水車 1台 ステーションワゴン 9台

10) 事業の履歴

- 1979年 熊本有価物回収事業協同組合設立
- 1980年 中小企業高度化資金対象事業として資源化工場開設
- 1987年 熊本県菊池郡大津町に大津事業所開設
- 1988年 「熊本有価物回収事業協同組合」から
「有価物回収協業組合石坂グループ」に組織変更
熊本市城山上代町に西部事業所開設
- 1991年 「空きびん・空き缶選別加工事業」資源化工場開設
- 1998年 「ミックス古紙選別事業」と「ペットボトル選別加工事業」工場
を建設・整備。
- 2001年 「破碎プラント（シュレッダー）」を設置
- 2002年 本社工場を移転
- 2004年 大津事業所にて「RPF（固形燃料）プラント」を設置
- 2006年 本社工場を拡張
- 2007年 株式会社九州環境ネットワーク設立
グループ全体でエコアクション21認証取得
- 2008年 株式会社エコポート九州 工場竣工

10) 産業廃棄物関連許可事項

	許可・通知・届出等		許可番号	許可の年月日	有効期限
1	一般廃棄物収集・運搬業許可証	熊本市	第18R-11号	令和2年4月1日	令和4年3月31日
		大津町	第8号	令和2年4月1日	令和4年3月31日
		菊陽町	第267号	令和2年4月1日	令和4年3月31日
		合志市	合志市指令第76号	令和3年4月1日	令和5年3月31日
		菊池市	菊池市指令第2号	令和3年4月1日	令和5年3月31日
2	産業廃棄物収集・運搬業許可証	熊本県	第04301023165号	平成28年9月1日	令和5年8月31日
		熊本市	第08101023165号		
		福岡県	第4000023165号	平成28年7月23日	令和5年7月22日
		熊本市	第08111023165号	平成30年1月15日	令和5年1月14日
		山口県	第03500023165号	令和2年11月12日	令和9年11月11日
		佐賀県	04103023165	平成26年3月29日	令和10年3月28日
		大分県	04402023165	平成30年6月19日	令和7年6月18日
		大分市	8800023165		
		大牟田市	7801023165		
		鹿児島市	8201023165号		
		鹿児島県	04609023165号	令和1年6月27日	令和8年6月26日
3	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証	熊本県	第04351023165号	平成27年11月4日	令和4年10月16日
		熊本市	第08161023165号	平成27年8月8日	令和4年8月7日
		福岡県	04050023165	平成29年1月23日	令和6年1月22日
		山口県	第03550023165号	平成26年11月25日	令和3年11月24日
4	一般廃棄物処分業許可証	熊本市	第2-01号	令和3年3月8日	令和5年3月7日
		大津町	第34号	令和2年4月1日	令和4年3月31日
5	産業廃棄物処分業許可証	熊本県	第04321023165号	平成28年2月24日	令和5年2月11日
		熊本市	第08121023165号	令和2年9月12日	令和9年9月11日
6	解体業許可証(使用済自動車)	熊本市	第20813100108号	令和1年7月1日	令和6年6月30日
	解体業許可証(使用済自動車)	熊本県	第20433200001号	令和1年7月1日	令和6年6月30日
	破砕業許可証(使用済自動車)	熊本市	第20816100108号	令和1年7月1日	令和6年6月30日
	使用済自動車の再資源化に関する法律フロン類回収登録(戸島)	熊本市	20812100108	平成29年6月19日	令和4年6月18日
	使用済自動車の再資源化に関する法律引取業登録(戸島一西部)	熊本市	20811100108	平成29年10月18日	令和4年10月17日
	使用済自動車の再資源化に関する法律引取業登録(大津事業所)	熊本県	20431200064	平成29年8月3日	令和4年8月2日
7	廃棄物再生事業者登録証明書	熊本県	廃対第1358号	平成23年2月28日	
8	熊本市リサイクル事業者認定証	熊本市	認定番号05-22	令和2年6月10日	令和7年6月9日
9	ISO14001登録証	J S A E	J S A E 417	令和1年9月21日	令和4年9月20日
10	冷媒回収フロン事業所認定証		430022	令和1年10月1日	令和4年9月30日
11	第1種フロン類回収事業登録通知書		430007A	平成29年2月19日	令和4年2月18日
12	解体工事登録	熊本県	22-87号	令和2年5月19日	令和7年5月18日
13	古物商許可証	熊本県	第931280001620号	平成12年12月20日	
14	エコアクション(EA)21		0002032	令和1年11月28日	令和3年11月27日

11) 産業廃棄物処理施設の概要

□ 本社 (所在地：熊本県熊本市東区戸島2874番地1 外23筆)

(1) 設置の許可を受けている施設

施設の名称等	施設の種類	産業廃棄物の種類	処理能力
破砕処理工業	破砕・選別	プ・紙・木・織・ゴ 金・陶・が	32 t/日(8h)
破砕・選別工場	破砕(移動式)・選別	木	276.4 t/日(8h)
ペットボトル破砕工場	選別・破砕・洗浄	プ	17 t/日(8h)

(2) その他の施設

施設の名称等	施設の種類	産業廃棄物の種類	処理能力
金属リサイクル工場	切断	プ・木・金	68.8 t/日(8h)
	圧縮	プ・金	5.6 t/日(8h)
	剥離		3.0 t/日(8h)
	切断・分離	プ・金	2.5 t/日(8h)
廃自動車等解体工場	選別・解体	汚泥・廃酸・廃アルカリ プ・油・紙・木・織 ゴ・金・陶	30台/日(8h)
破砕処理工場	選別	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ プ・ゴ・金・陶・紙・木 織・が	16 t/日(8h)
	破砕	プ・紙・木・織・ゴ・金 陶・が	4.1 t/日(8h)
びん・缶選別工場	選別	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ プ・ゴ・金・陶・紙・木 織・が	48 t/日(8h)
	圧縮	金	16 t/日(8h)
	圧縮	金	5.6 t/日(8h)
	破砕・分級	陶	16 t/日(8h)
	破砕・選別	プ・金	2.0 t/日(8h)
ペットボトル等選別工場	選別	プ	4.0 t/日(8h)
	圧縮	プ	4.5 t/日(8h)
廃蛍ランプ類破砕施設	破砕	プ・金・陶	1.0 t/日(8h)
破砕・減溶施設	破砕・減溶	プ	0.96 t/日(8h)
選別・圧縮工場	選別	プ・紙・織	40 t/日(8h)
	圧縮	プ・紙・織	168 t/日(8h)
びん・ガラス破砕・選別工場	選別・破砕・洗浄	陶	200 t/日(8h)
機密古紙破砕工場	破砕	紙	9.6 t/日(16h)
選別・プレス工場	選別・圧縮	プ・紙・木・織・ゴ・金 陶	100 t/日(8h)
選別工場	選別・圧縮・梱包	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ プ・ゴ・金・陶・紙・木 織・が	48 t/日(8h)

□ 本社 (所在地：熊本県熊本市東区戸島2874番地1 外23筆)

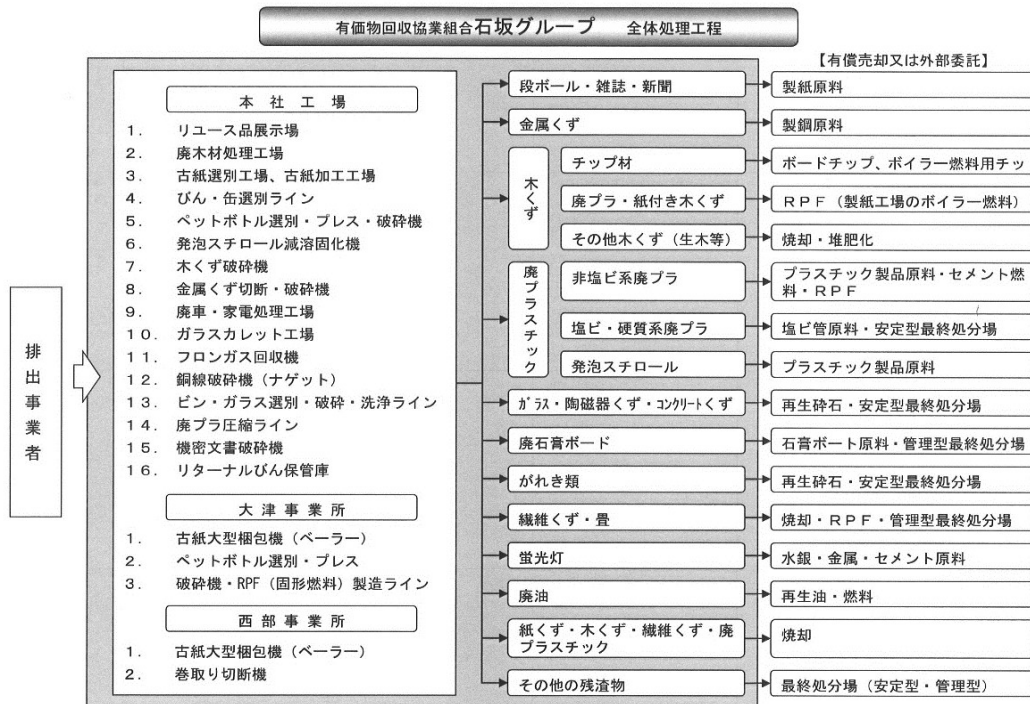
(3) 廃棄物の保管施設

施設の名称等		施設の種類	産業廃棄物の種類	保管容量
保管施設	金属リサイクル工場	切断	プ・木・金	447.0m ³
		圧縮	プ・金	16.0m ³
		剥離	プ・金	37.0m ³
		切断・分離	プ・金	18.5m ³
	廃自動車等解体工場	選別・解体	汚泥・廃酸・廃アルカリ プ・油・紙・木・織 ゴ・金・陶	18台
	破砕処理工場	選別	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ プ・ゴ・金・陶・紙・木 織・が	200.0m ³
		破砕	プ・紙・木・織・ゴ	
		破砕・選別	金・陶・が	
	びん・缶選別工場	選別	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ プ・ゴ・金・陶・紙・木 織・が	361.0m ³
		圧縮	金	
		破砕・分級	陶	354.0m ³
		破砕・選別	プ・金	82.5m ³
	ペットボトル等選別工場	選別	プ	280.0m ³
		圧縮		
	廃ランプ類破砕施設	破砕	プ・金・陶	8.0m ³
	選別・圧縮工場	選別	プ・紙・織	2457.0m ³
		圧縮		447.0m ³
	破砕・減溶施設	破砕・減溶	プ	3.4m ³
	破砕・選別工場	破砕(移動式)・選別	木	469.7m ³
	ペットボトル破砕工場	選別・破砕・洗浄	プ	627.0m ³
				226.0m ³
				627.0m ³
				784.0m ³
	びん・ガラス破砕工場	選別・破砕・洗浄	陶	63.0m ³
				70.5m ³
				40.1m ³
				702.2m ³
機密古紙破砕工場	破砕	紙	35.9m ³	
			10.3m ³	
選別・プレス工場	選別・圧縮	プ・紙・木・織・ゴ 金・陶	536.7m ³	
			206.4m ³	
選別工場	選別・圧縮・梱包	汚泥・油・廃酸・廃アルカリ プ・ゴ・金・陶・紙・木 織・が	378.3m ³	

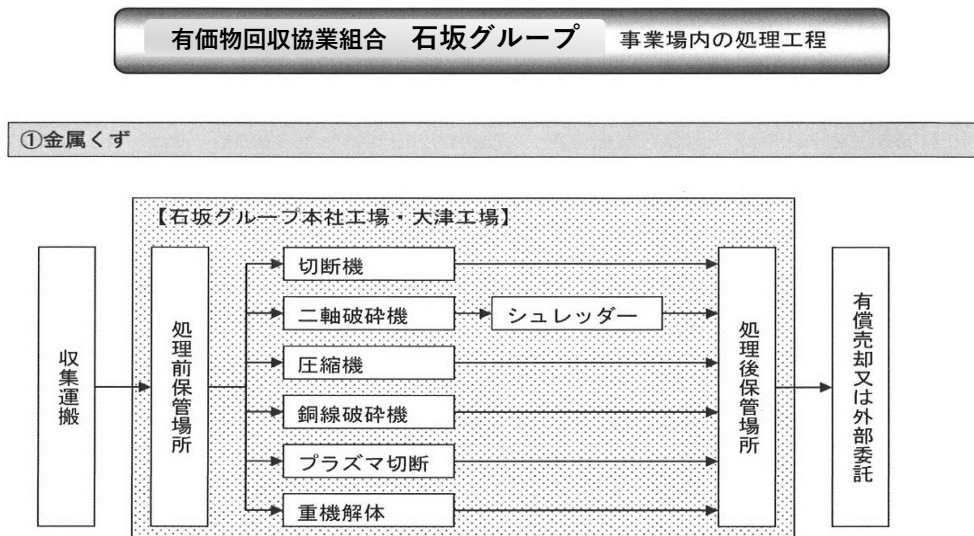
□ 大津事業所 (所在地：熊本県菊池郡大津町杉水字中谷3746番2ほか)

区分	処理方法	産業廃棄物の種類	処理能力
中間処理業	圧縮	紙・織・金・プ	198.8 t/日(8h)
	解体・選別	木・金・陶・プ	32 t/日(8h)
	選別	紙・木・織・ゴ・金・陶・が・プ	78 t/日(8h)
	破碎①	陶	1.0 t/日(8h)
	破碎②	紙・木・織・プ	4.4 t/日(8h)
	圧縮・固化	紙・木・織・プ	4.4 t/日(8h)

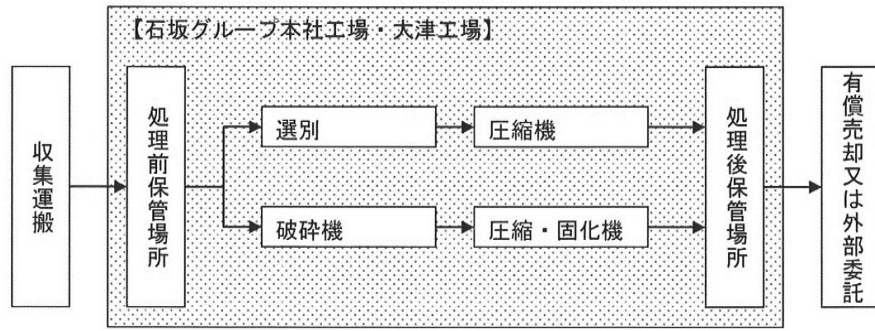
12) 全体処理工程



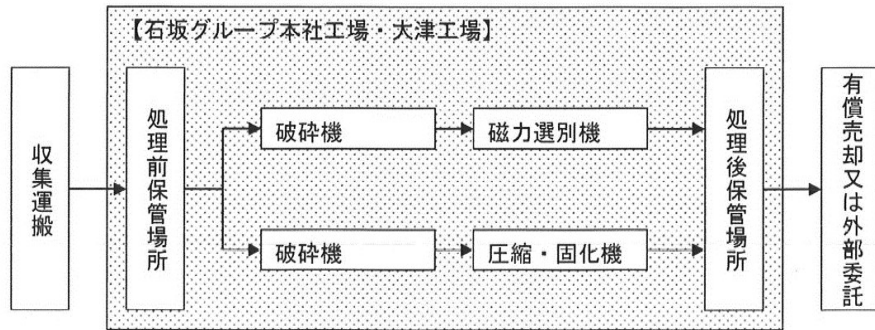
13) 処分場処理方式、処理工程図



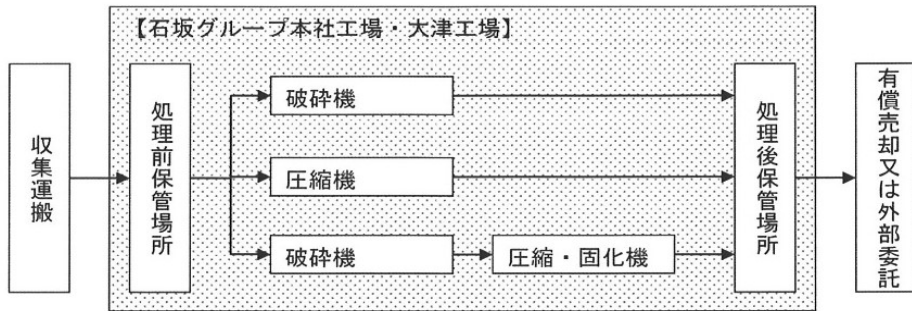
②紙くず



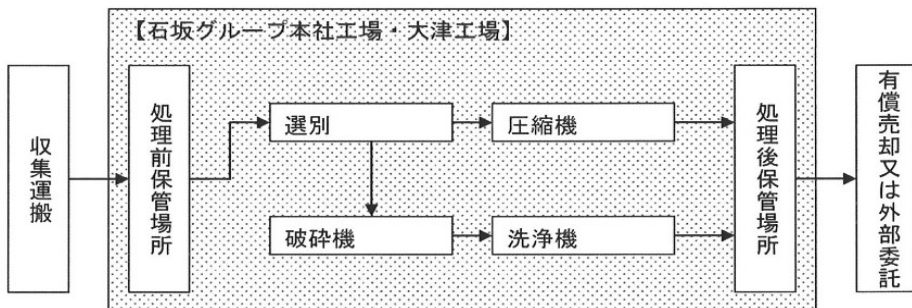
③木くず



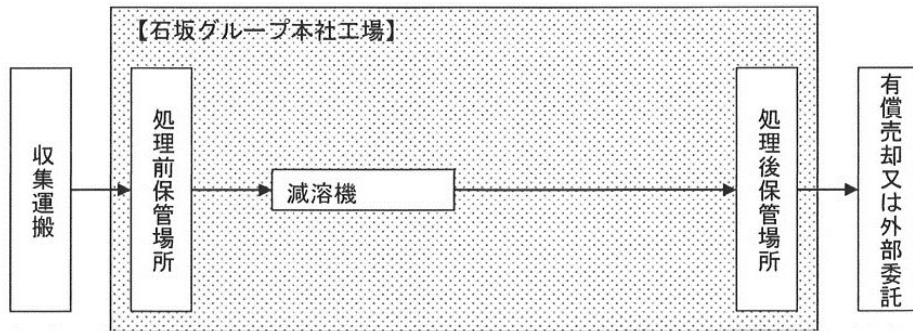
④廃プラスチック類



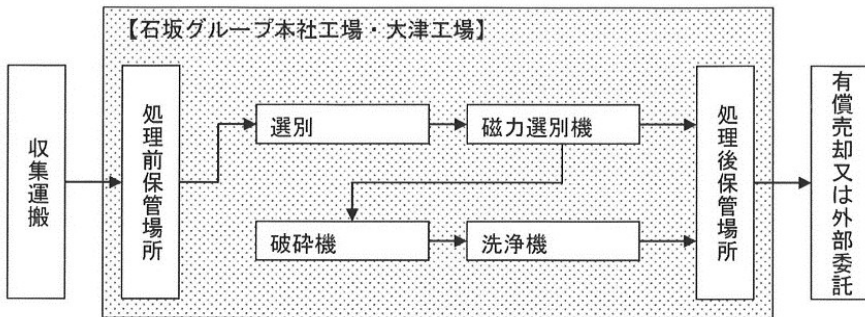
⑤ペットボトル（廃プラスチック類）



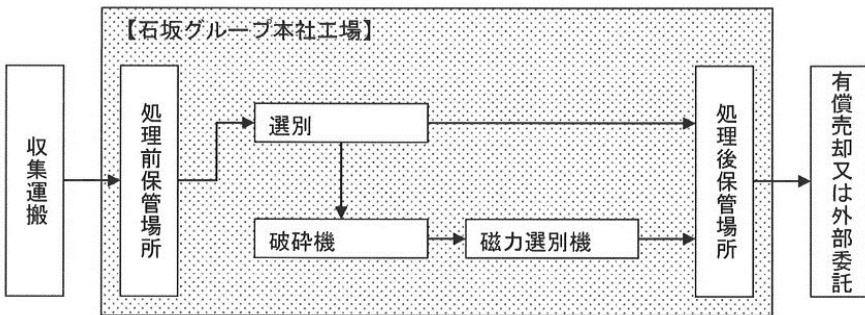
⑥発泡スチロール（廃プラスチック類）



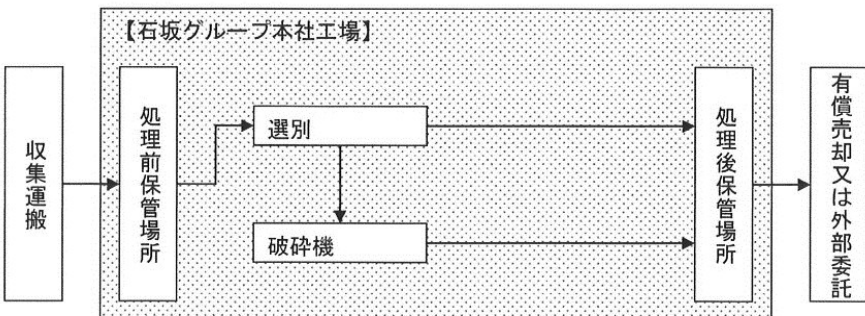
⑦ビン缶（ガラスくず・金属くず）



⑧がれき類



⑧蛍光灯（ガラスくず、金属くず、廃プラスチック類）

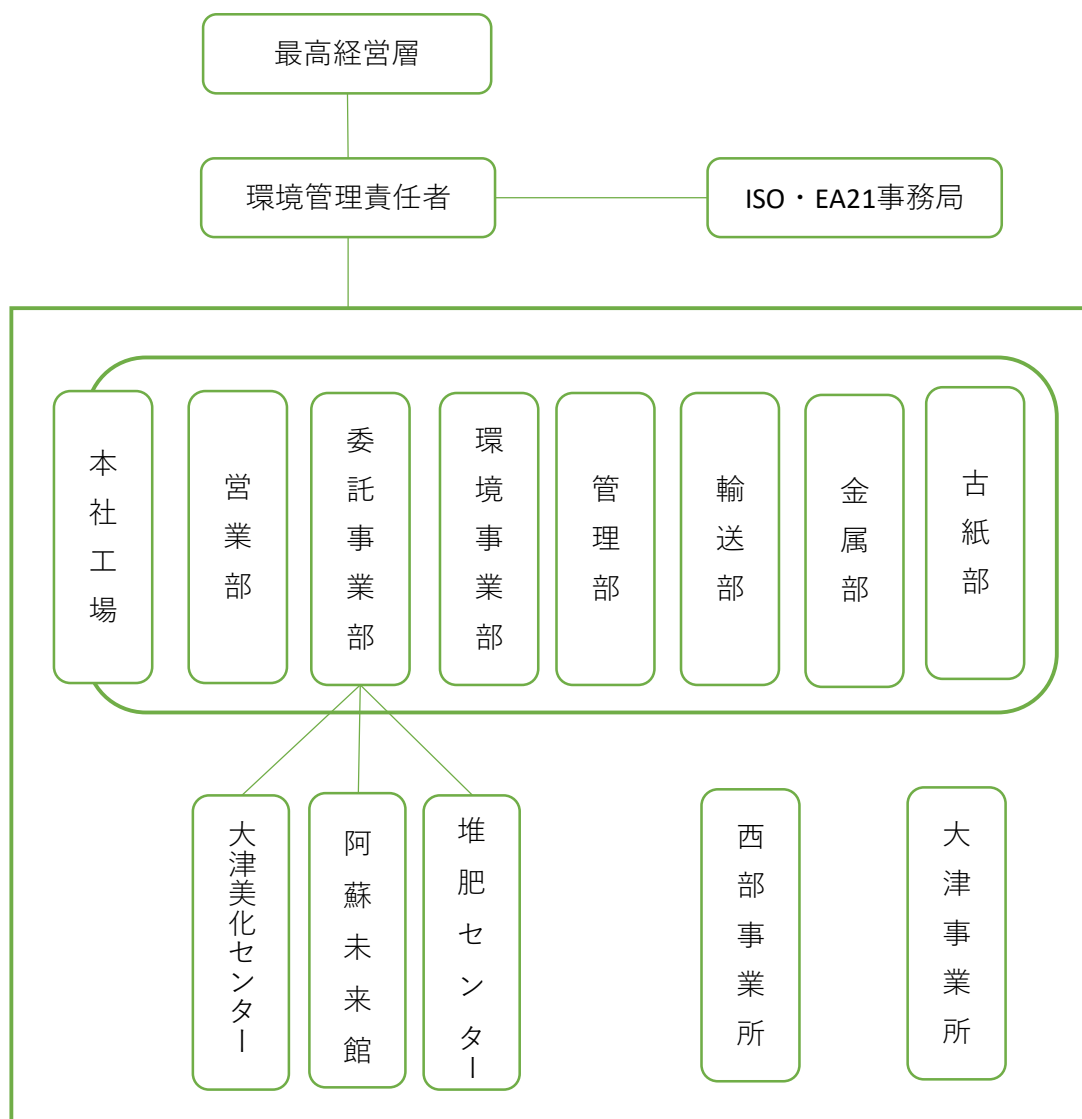


3. 認証・登録対象範囲

- 認証・登録番号 0002032
- 認証・登録事業者 有価物回収協業組合 石坂グループ
- 事業活動 一般廃棄物・産業廃棄物・有価物の収集運搬業
一般廃棄物・産業廃棄物・有価物の中間処理業
有価物の回収・販売
指定管理施設の運営
(大津美化センター・阿蘇未来館・堆肥センター)
- 対象事業所 本社工場、西部事業所、大津事業所

4. E A 2 1 組織図

当組合の環境経営システムガイドラインの組織図



5. 環境経営目標

中長期の環境経営目標は2019年度実績を基準とし下記のとおり設定しました。

項目		単位	基準	環境目標			
			2019年度	2020年	2021年	2022年	
工場の 二酸化炭素排出量	生産加工量 あたり	電気	kg-CO ₂ / t	12.16	12.14	12.14	12.14
		燃料 (軽油・灯油)		7.37	8.49	8.49	8.49
	稼働時間 あたり	燃料 (重油)	kg-CO ₂ / h	79.72	87.80	87.80	87.80
収集運搬の 二酸化炭素排出量	受取運賃 あたり	kg-CO ₂ /円	0.00259	0.00306	0.00306	0.00306	
水使用量	生産・加工量 あたり	m ³ / t	0.99	0.91	0.91	0.91	
廃棄物等排出量	リサイクル率	%	96.2	95%以上	95%以上	95%以上	
バーチャル 工場見学	バーチャル 工場見学	人	1,572	1,572	1,572	1,572	
化学物質の適正使用 適正管理			適正使用管理				
グリーン商品 (事務用品)	購買率	%	72.7	68.5	68.5	68.5	
関連法規の遵守			関連法規遵守				
環境方針の 全従業員への周知 一般への公開			環境方針の全従業員への周知・一般への公開				
<input type="checkbox"/> 目標項目変更：工場見学・体験学習 → バーチャル工場見学 新型コロナウイルス感染拡大により工場見学・体験学習の開催が見送られた為 目標項目の変更を行いました。							

6. 環境経営計画

環境経営目標を達成するため環境経営計画を下記の通り設定しました。

項目		2020年度	責任担当者	
工場の 二酸化炭素 排出量	生産・加工量 あたり	電気	・選別量・加工量の向上	金属部 小井出 聖
			・加工計画の見直し	
			・加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施	
	生産・加工量 あたり	燃料 (軽油・灯油)	・LEDへの切り替え	
			・力量教育の実施	
			・メンテナンスの強化	
稼働時間 あたり	燃料 (重油)	・稼働率のUP		
		・アイドリングストップの強化		
収集運搬の 二酸化炭素 排出量	受取運賃あたり	・電力との併用の検討	大津事業所 村田 勇喜	
		・電力値の見える化の実施		
		・収集コースの見直し		
		・荷造り講習会の実施		
		・引取り車輛及び引取り方法の見直し		
		・配車の見直し		
		・力量教育の実施		
		・稼働率のUP		
水使用量	生産・加工量あたり	・省燃費運転講習会の実施	管理部 長濱 雄一	
		・メンテナンス技術向上研修会の実施		
		・雨水タンク増設等の設備改善検討		
廃棄物等 排出量	リサイクル率	・洗車時の雨水利用の促進と使用時間の短縮	営業部 島田 剣	
		・漏水の早期発見		
		・雨水タンク増設等の設備改善検討		
		・マテリアル原料化		
		・新規出荷先の開拓		
		・選別方法・収集方法の改善の強化		
バーチャル工場見学		・RPF原料化の強化	管理部 中島 葵	
		・取引先社員向けの営業展開の強化		
		・最終残さの削減		
化学物質の適正使用・適正管理		・婦人会・老人会・子供会へのアピール	環境事業部 西 聡史	
		・ホームページの更新		
グリーン商品（事務用品）		・送付票、封筒等でのアピール	管理部 長濱 雄一	
		・定期的なチェックを行う		
環境法規の 遵守		・書類管理を徹底する	管理部 河野 友美	
		・購入リストに基づく購入を行う		
環境方針の 周知と公開		・省エネルギー基準適合製品を購入する	管理部 長濱 雄一	
		・定期的なチェックを行う		
		・書類管理を徹底する		
環境方針の 周知と公開		・全従業員に環境手帳を配布	管理部 長濱 雄一	
		・正面玄関に掲示		
		・HPへ掲載する		

7. グループ全体の物質収支

1) 工場系

□ エネルギーの使用量〔単位：MJ〕

	電気	化石燃料	合計
本社工場	17,983,513	13,096,135	31,079,648
西部事業所	572,804	692,948	1,265,752
大津事業所	4,260,558	1,959,049	6,219,607
合計	22,816,875	15,748,132	38,565,007

□ 水使用量〔単位：m³〕

	上水	地下水	合計
本社工場	1,360	30,980	32,340
西部事業所	231	0	231
大津事業所	2,201	0	2,201
合計	3,792	30,980	34,772

□ 中間処理実績〔単位：t〕

	中間処理量	再資源化等量	単純焼却 最終処分
一般廃棄物	21,363.5	7,688.7	1,340.9
産業廃棄物	14,569.3	5,185.2	4,549.8
有価物	122,965.1	147,653.0	0.0
合計	158,897.9	160,526.9	5,890.7

(注1) 入出荷にタイムラグがある為、

中間処理量 = 再資源化 + 単純焼却最終処分量にはなっておりません。

(注2) 再資源化等量は廃棄物から再資源化されたものも含まれます。

□ CO₂排出量〔単位：Kg-CO₂.〕

	電気	化石燃料	合計
本社工場	583,595.19	887,248.33	1,470,843.52
西部事業所	18,588.45	46,801.20	65,389.65
大津事業所	191,573.41	132,313.62	323,887.03
合計	793,757.05	1,066,363.15	1,860,120.20

(注3) 本社工場・西部事業所の電気CO₂.の排出係数は、2019年度

九州電力のCO₂.実排出係数0.319Kg-CO₂./kwhを使用しています。

(注4) 大津事業所の電気CO₂.の排出係数は、2019年度

丸紅新電力のCO₂.実排出係数0.442Kg-CO₂./kwhを使用しています。

2) 輸送系

- エネルギーの使用量〔単位：MJ〕

	化石燃料
本社工場	19,549,845
西部事業所	423,968
大津事業所	1,959,049
合計	21,932,862

- 収集運搬実績〔単位：t〕

	収集運搬量
一般廃棄物	22,331.1
産業廃棄物	12,432.2
有価物	39,754.5
合計	74,517.8

- 使用燃料〔単位：kℓ〕

	軽油	ガソリン	BPF	合計
本社工場	481.26	33.69	0.00	514.95
西部事業所	11.10	0.00	0.00	11.10
大津事業所	79.91	0.00	0.00	79.91
合計	572.27	33.69	0.00	605.96

- CO₂排出量〔単位：Kg-CO₂.〕

	化石燃料
本社工場	1,319,813
西部事業所	28,635
大津事業所	206,169
合計	1,554,618

工場系CO₂

総排出量 1860120.2 kg-CO₂

(前年比 ▲1,953,387kg-CO₂)

輸送系CO₂

総排出量 1,554,618kg-CO₂

(前年比 ▲70,396kg-CO₂)



8. 環境経営目標と実績

項目			単位	2020年度		環境経営計画	判定				
				環境目標	実績						
工場の 二酸化炭素排出量	生産加工量 あたり	電気	kg-CO2/ t	12.14	12.17	・選別量・加工量の向上	○				
					目標未達成	・加工計画の見直し	○				
		燃料 (軽油・灯油)		8.49	7.94	・加工機械時間短縮及び切り替え運転の実施	○				
					目標達成	・LEDへの切り替え	△				
	稼働時間 あたり	燃料 (重油)	kg-CO2/ h	87.80	78.14	・力量教育の実施	○				
						目標達成	・メンテナンスの強化	○			
					・稼働率のUP	○					
					・アイドリングストップの強化	○					
収集運搬の 二酸化炭素排出量	受取運賃あたり		kg-CO2/円	0.00306	0.00246	・電力との併用の検討	○				
						目標達成	・電力値の見える化の実施	○			
						・収集コースの見直し	○				
										・荷造り講習会の実施	○
										・引取り車輛及び引取り方法の見直し	○
										・配車の見直し	○
水使用量	生産・加工量あたり		m3/ t	0.91	0.91	・力量教育の実施	○				
						目標達成	・稼働率のUP	○			
						・洗車時の雨水利用の促進と使用時間の短縮	○				
										・省燃費運転講習会の実施	○
										・メンテナンス技術向上研修会の実施	○
										・漏水の早期発見	○
廃棄物等排出量	リサイクル率		%	95%以上	0.963	・雨水タンク増設等の設備改善検討	○				
						目標達成	・マテリアル原料化	○			
						・新規出荷先の開拓	○				
										・選別方法・収集方法の改善の強化	○
										・RPF原料化の強化	○
										・取引先社員向けの営業展開の強化	○
バーチャル工場見学			人	1,572	4,095	・最終残さの削減	○				
						目標達成	・婦人会・老人会・子供会へのアピール	○			
						・ホームページの更新	○				
					・送付票、封筒等でのアピール	○					
化学物質の適正使用適正管理				適正使用管理		・定期的なチェックを行う	○				
						・書類管理を徹底する	○				
グリーン商品 (事務用品)	購買率		%	68.5	68.6	・購入リストに基づく購入を行う	○				
					目標達成	・省エネルギー基準適合製品を購入する	○				
関連法規の遵守				関連法規遵守		・定期的なチェックを行う	○				
						・書類管理を徹底する	○				
環境方針の 全従業員への周知一般への公開				環境方針の全従業員への 周知・一般への公開		・全従業員に環境手帳を配布	○				
						・正面玄関に掲示、ホームページに掲載する	○				

□ 目標項目変更：工場見学・体験学習 → バーチャル工場見学
 新型コロナウイルス感染拡大により工場見学・体験学習の開催が見送られた為
 目標項目の変更を行いました。

9. SDGsへの取り組み

熊本県SDGs登録事業者となりました。

□ SDGs達成に向けた経営方針と目指す姿

私たち石坂グループは、リサイクル事業及び廃棄物処理事業を通じ、業界のリーディングカンパニーとして地域・社会の環境保全への取り組みをサポートし、環境に責任の持てる企業として有益な環境活動を追及いたします。



□ SDGs達成に関する重点的な取り組み

グリーン購入の推進

残業時間の削減

年齢、性別を問わない中途採用の実施

10. 環境関連法規等の遵守状況

ISO-EA21事務局及び部門長は、

年1回、順法性の確認を行い、環境記録として保管しています。

問題が発見された場合は、

環境管理責任者の下、是正処置及び予防処置を実施しています。

2020年度は、当社グループによる

環境関連法規違反、環境に重大な影響を与える事故、訴訟はありませんでした。

11. 地域・社会貢献

- ・熊本震災、西日本豪雨、佐賀豪雨、人吉球磨豪雨の災害廃棄物の処理を行いました。社員の多数がそれらを経験しており、今後の準備を含め数多くの行政とレジリエンスをしながら協議を行っています。
- ・地域事業者として、県下一斉清掃を行い、社会貢献活動に取り組んでいます。
- ・熊本市環境フェア等に参加
- ・社内で肉牛、乳牛の糞尿を堆肥化して、その堆肥は有機JASの認定を頂き、人参、ゴーヤ、板藍根などの農作物を社内還元しています。
- ・高校生の職場体験を、積極的に受け入れています。



工場見学
のご案内



バーチャル
工場見学



12. 環境責任者及び代表者による全体評価と見直しの結果

1) 環境マネジメントシステムの現状

- ① 前回のEMSマネジメントレビューの結果は6月15日の環境会議において環境委員に対し報告し、次年度に向けての取り組みの強化と内容の変化にすぐ対応できる体制を作るよう指示しました。
- ② 環境マネジメントシステム（EMS）に関連する外部及び内部の課題は毎月一回開催の環境会議にて確認。（環境会議議事録を参照。）現在は「人材育成」「コンプライアンス遵守」「作業環境の改善」
- ③ 順守義務を含む、利害関係者のニーズ及び期待に関しては、毎月一回開催の環境会議にて確認。（環境会議議事録を参照。）
- ④ 著しい環境側面に関しては、著しい環境側面登録簿にて各部門より検出。（著しい環境側面登録簿を参照。）
- ⑤ リスク及び機会に関しては、④同様、リスク及び機会抽出検討書にて各部門より検出。（リスク及び機会抽出検討書を参照。）
- ⑥ 環境目標の達成程度に関しては、28項目中23項目で達成予定となり、未達項目においても社内の細かい業務フローの変更等による要因が考えられるもので、随時目標の変更改定を行っています。
- ⑦ 不適合及び是正処置に関しては、営業部の監視測定数値について達成率が低かったため、数値の見直しをおこなったところ、貿易向けの品目が出にくくなっている状況が判明。基礎年に変更せず、2019年度の貿易を除くリユース量に対して3%向上を目標に変更した。また、委託事業部関しても取り漏れ件数に関して目標値3.5件へと下方修正をおこなった。（別紙添付書類並びに不適合処理表参照）
- ⑧ 監視及び測定の結果に関しましては、5項目において現状未達、うち3項目については充分評価できる数値となって、今後でも追求可能な数字ではないかと考えます。
- ⑨ 法令順守状況に関しては、毎月CIS等を活用し、関係法令に関してはチェックをおこなっています。なお、特定施設の管理についても各部門の特定施設を登録し、管理点検を行うとともに騒音・振動測定等も行っています。（法規制順守定期評価表及び法規制登録簿を参照。）
- ⑩ 内部監査 [5/24~5/25] の結果、不適合6件、改善事項17件、推奨事項8件の計31件で終了しました。（内部監査報告書等を参照。）
- ⑪ 経営資源の妥当性に関しましては、人員の確保をこの時期でも実施し、人材資源については少しずつですが見直されつつあります。その他工場プラントの改修、改善と実施され、AIの導入、各プラントのリプレースを計画しています。
- ⑫ 苦情を含む、利害関係者からの関連するコミュニケーションに関しては、処分委託先からの品質クレームが発生しています。禁忌品といわれる処理不適物の混入によるもので、改善報告書を提出し、受け入れから選別加工までのフローを見直し対応しています。その他では排出先からの処分確認、引き取り時のお褒めの言葉など対応に対して有益なご意見を多くいただき、外部とのコミュニケーションをとる事ができました。（外部対応表を参照。）
- ⑬ 継続的改善の機会に関しては、②及び③同様、毎月一回開催の環境会議にて課題を確認し、その都度検討をおこなっています。（環境会議議事録を参照。）
- ⑭ 総括としては、コロナ過の中で事業活動に大きな影響を与えることなく推移しています。業務的にも、大きなクラスター等もなく企業・行政系の動きも活発になりつつあり業績も良好に上がってきています。現状頭を悩ませているものとしては、社員の勤務改善のため残業をせず、有給の取得・年間休日の見直し等を推し進めるためにも、新規・中途の社員募集の中で人員の補填がままならず急激な変化に対応できない状況とプラントの改善・補修・車両のリニューアル等、事前に計画したものが納期いまだ定まらない状況にあることです。ただ、社員の中で知恵を絞り、環境経営と同時に部所間の協力により対応しているところは評価出来ると思っております。ご報告いたします。

2021年6月23日 環境管理責任者 辻 崎 英 樹

2) 全体の評価

現状維持の中、人員の確保・施設等の改善については根気強く対応し、環境経営を含め業務の効率化と社員の勤務環境の見直しを含めた活動をこの取組の中で実践して行ってほしい。

3) 見直し

環境経営目標・環境経営計画については、見直し変更したものと、現状の会社が置かれた状況の説明を行い、処理先・処理単価など大きく変動する要因があるため、取組の改善と課題をあげている。コンプライアンス遵守、人材育成、作業環境改善を推し進めていく。

2021年6月25日 代表理事 石 坂 孝 光